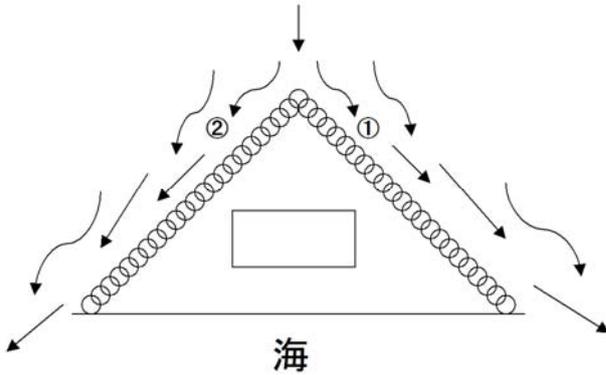


[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤
御提案件名	地下水流入抑制の敷地管理
御提案者	濱村 哲之進
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>地盤沈下については、処理水タンクの保管位置との関係があるので不明だが、タンクの地下水低下による地盤沈下も懸念している点を考慮すると、その対策に取り組む。</p> <p>地下水対策については、地形図より、原子力発電所は沢の下方にあたる事がわかる。地下水は、この沢に添って海に流れ込んでいるものと推測される。その為、下図のように、地下水を分散する手法を考えた。元々、地下ダム技術のある国にあって、その技術を使う事ははなはだたやすい事と思っていた。連壁の技術を用いるべきでもある。連壁には、地下ダムを建設するにあたってふさわしい工法を選択すべきである。</p> <p>下図の様に、まず①の方向に連壁を施工し完成すると、②の方向に施工を行っていく。地下水は、遮断する事なく左右にわけて流れる為、原子力発電所内の地下には侵入しない。ちなみに、スラリー壁、グラウトカーテンなどより十分な遮水効果が求められる素材を使用する。</p> 	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)</li> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点</li> <li>・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)</li> </ul>	



(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)
- ④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)